

2018年度 卒業研究 論文題目

◎ 基礎・健康開発看護学講座

➔ 看護アセスメント学分野

(指導教員 丸山良子)

- ・ 血圧測定者との関係性の違いによる自律神経活動の変化
- ・ 音楽の周波数の違いがもたらす自律神経への影響－性別によって反応は異なるのか？
- ・ 香りが自律神経系に与える影響－性別に注目した検証－
- ・ ラベンダーの香りが卵胞期、黄体期の自律神経活動に及ぼす影響
- ・ 体位の違いが循環動態と自律神経活動に与える影響
- ・ 運動種目の違いが自律神経活動と循環動態に与える影響－陸上短距離選手と長距離選手の比較－
- ・ 日常生活活動量が心拍数、血圧、自律神経活動に与える影響について

(指導教員 菅野恵美)

- ・ (論文題目非公開)
- ・ (論文題目非公開)
- ・ (論文題目非公開)

(指導教員 丹野寛大)

- ・ (論文題目非公開)

➔ 看護管理学分野

(指導教員 朝倉京子)

- ・ 男性看護師と女性看護師の職務満足度に影響を与える要因の比較
- ・ 精神健康に影響を与える要因の検討－PNSの実施の有無による比較－
- ・ 看護師の精神健康に影響する要因の男女比較
- ・ 介護施設の看護師が利用者のQOLをより良い状態に保つために必要だと認識しているはたらき

➔ 老年・在宅看護学分野

(指導教員 尾崎章子、安藤千晶、清水恵)

- ・ へき地における在宅終末期療養及び在宅死の現状に関する文献検討－中山間地域と離島の共通点と相違点に着目して
- ・ 「高齢者施設へのリロケーション」の概念分析
- ・ 認知症高齢者の介護者における自身の介護への納得についての文献検討
- ・ 非がん高齢者の在宅終末期を巡る訪問看護師の意思決定支援の様相
- ・ 高齢者の親を介護する息子介護者の介護における体験についての文献検討
- ・ サルコペニア危険度予測における指輪っかテストの妥当性及びフレイル評価における簡易フレイルインデックスの妥当性について

➔ 地域システム看護学分野、公衆衛生看護学分野

(指導教員 大森純子、津野陽子、竹田香織)

- ・ 二交代制勤務をする看護師と三交代制勤務をする看護師における有効な休憩・休息のとり方
- ・ 日本における就労女性が抱えるストレス因子についての文献検討 – 正規雇用・非正規雇用での比較 –
- ・ 若年女性の食習慣に準ずる健康課題と健康寿命との関連性 – 現代の若年女性における食習慣と健康課題の実態はどのようなものか？また、二者間にはどのような関連性があるのか？ –
- ・ 自閉症スペクトラム障害がある未就学児の母親の育児における困り感に関する研究
- ・ 高齢者における生きがい概念研究を援用した退職前後の生きがい内容の異同の調査
- ・ 医療職における長時間労働の改善に向けた取り組みに関する文献検討

(指導教員 田口敦子、松永篤志)

- ・ 高齢者見守り活動における活動内容と特徴の整理
- ・ 農業地域の壮年期住民における健康アプリケーションの利用および利用意向のある人の特徴と、健康アプリケーションの利用を阻む要因
- ・ 農業地域在住の壮年期住民におけるロコモティブシンドロームの実態と関連要因の検討
- ・ 特定機能病院の外来看護師による電話対応の実態把握

➔ 地域保健学分野

(指導教員 Cindy Chiu)

- ・ Joint External Evaluations of the International Health Regulations [IHR (2005)] – Worldwide Implementation Situation and Outcomes, 2016-2017
- ・ Stressors, stress coping methods and stress levels among fourth-year nursing students, 2018
- ・ Optimism and self-efficacy among fourth-year nursing students before and after a 2-week positive psychology intervention, 2018
- ・ Joint External Evaluations of the International Health Regulations [IHR (2005)] – Worldwide Implementation Situation for Zoonotic Diseases, 2016-2017

📍 家族支援看護学講座

➡ 成人看護学分野

(指導教員 菊地史子)

- ・ 筋萎縮性側索硬化症患者の呼吸器装着に関する意思決定過程における心理的葛藤についての文献検討
- ・ デスカンファレンスの効果と今後のあり方 – 一般病棟におけるデスカンファレンスについての文献検討より

➡ がん看護学分野

(指導教員 佐藤富美子)

- ・ がん化学療法患者の倦怠感を緩和する介入研究に関するレビュー
- ・ クリティカルケア領域の代理意思決定における家族及び看護師の困難感に関する文献検討
- ・ AYA 世代がん患者の妊孕性温存治療選択の決め手となる要因に関する文献検討
- ・ がん患者の心理的適応と関連要因に関する文献検討
- ・ 乳がん患者の術後上肢機能障害の実際と生活の影響に関する語りの分析
- ・ がん患者の就労を可能にする要因についての文献検討

(指導教員 佐藤菜保子、千葉詩織)

- ・ 終末期がん患者の介護体験を通じた『家族の成長』の概念分析
- ・ 化学療法を受けるがん患者の意思決定に関する文献レビュー
- ・ 外来化学療法中の消化器がん患者の食生活へ影響する要因の検討

➡ 緩和ケア看護学分野

(指導教員 宮下光令)

- ・ 日本における緩和ケア必要患者数の推定
- ・ 看取りのケアのクリニカルパスLiverpool Care Pathwayの使用基準の予後予測性能
- ・ がん患者の緩和ケアの質評価に関するDPCデータのValidation研究
- ・ 認知症のGood deathの在り方に関する認知症患者, 家族, 医師, 看護師, 介護職に対するインタビュー調査の内容分析

(指導教員 青山真帆)

- ・ がん患者家族における心の準備に関連する要因についての研究 – 全国遺族調査から –
- ・ 複雑性悲嘆のスクリーニング尺度であるBrief Grief Questionnaire (BGQ)の短縮化についての研究
- ・ がん患者におけるレジリエンスの関連要因 – 宮城県がん患者会調査から –

➔ 小児看護学分野

(指導教員 塩飽仁、入江 亘、菅原明子)

- ・ 母子家庭の子どもの家庭経験の語りの実際についての質問紙調査
- ・ 入院している子どもとその保護者が院内学級に通学していることでよかったと感じていること
- ・ しつけと虐待の境界に対する大学生の認識とその関連要因

➔ 精神看護学分野

(指導教員 吉井初美)

- ・ HIV 陽性者のセルフスティグマに関する研究動向
(論文題目非公開)
- ・ 精神障害者のセルフスティグマ及び自己開示に関する研究動向
- ・ 統合失調症の病識に関する介入研究レビュー

➔ 周産期看護学分野

(指導教員 小山田信子)

- ・ 孫育てにより祖父母が認識する自身の変化

(指導教員 佐藤眞理)

- ・ 日本で出産した在日外国人女性が考える母国の慣習 – 出産・産褥期を通して –
- ・ 不妊症と生活習慣の関係についての文献検討 – 望む妊娠をするために日常生活からできること –

➔ ウィメンズヘルス看護学分野

(指導教員 吉沢豊子)

- ・ コペアレンティングと親役割適応および育児との関係性
- ・ 夫婦関係、成人愛着スタイルとコペアレンティングの関係性
- ・ 日本版I FEEL Pictureを用いた父親と男子大学生の情緒応答性の違い

(指導教員 中村康香)

- ・ 就労妊婦の罪悪感尺度の開発 – 信頼性と妥当性の再検討 –
- ・ 第1子の誕生を期待する男性の妊娠期における肯定的な体験 – 国内外の文献より –